



マツダ病院だより

ひまわり

82



病院長 田村徹

CONTENTS

- 新年のご挨拶
- 南区医師会・マツダ病院病診連携の会/
第7回マツダ病院オープンカンファレンス
- 骨粗鬆症イベント/
「私の心づもり人生会議」キャンペーン
- マツダ病院ボランティア交流会/慰靈法要/
クリスマスコンサート
- 地域のドクター便り:岩崎内科医院/
公開医療講座:やっていこうフレイル予防! のばそう健康寿命!
- 外来診療のご案内

マツダ病院理念

マツダ病院は温かい思いやりの心で最新・最良の医療を提供し
社会に貢献します

基本方針

1. 患者さんの立場になって、心のこもった医療を提供します
2. 医療の安全を徹底し、信頼される病院を目指します
3. 地域の中核病院として、近隣医療機関との連携を図り、
地域医療の向上に努めます
4. 最新・最良の医療を提供するため、常に研鑽に励みます
5. 自主・自律(立)の精神のもと、一人ひとりが生き生きとした、
働きがいのある病院を目指します
6. 医療資源の活用を図り、健全な経営の確保に努めます



明けましておめでとうございます。新年の幕開けにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。

2025年を振り返りますと、未来への夢や希望を感じさせる出来事が多かったように思います。4月から10月まで6ヶ月間にわたって開催された大阪・関西万博は、内外から多くの来場者が訪れ、未来の技術や文化の交流が行われました。私たちに関係性の高い医療の分野では、iPS細胞をテーマにした再生医療の可能性が発信されるとともに、ミライのヘルスケア体験など、私たちの命や健康に希望をもたらす数多くの展示がされておりました。

また、11月には二人の日本人研究者がノーベル賞を受賞し、生理学・医学賞では「制御性T細胞」の大発見が称えられ、特定の分野で新しい治療法開発に道が開かれることも発表されています。

さらに、政界では10月に日本の憲政史上で初めて女性総理大臣による高市政権がスタート



マツダ株式会社 マツダ病院
たむら とおる
病院長 田村 徹

しました。外交を始め様々な評価が入り交じっておりますが、新たな時代の到来を予感させます。その一方で当院においては、6月に摂食嚥下センター、10月にはリウマチ・膠原病科を新設して医療サービスの提供体制を強化するとともに、一昨年の手術支援ロボットダヴィンチ Xiの導入に続き、CT検査装置、RI検査装置といった大型医療機器の更新投資も行い、地域の皆様のニーズに応える取組みを着実に進めて参りました。

2026年の干支は午です。馬は古来より力強さと前進する力を象徴する動物とされております。2025年に続き、エネルギーと勢いに満ちあふれる活動的な年になりそうです。私たちも新たな一年を力強く、そして迅速に、地域の皆様の命と健康を守るために邁進いたします。

さて、マツダ病院では、2023年度から2025年度までの3ヶ年を対象とした中期経営計画に

おいて、地域医療の充実を目指し、様々な取り組みを進めて参りました。国内では、少子高齢化の影響により回復期病床の不足が見込まれておりますが、当院が立地する府中町を含む安芸郡と広島市の医療圏も同様な状況が予測されています。この環境の変化に対応し、当院ではリハビリテーションを中心とした回復期機能を段階的に充実させております。

2024年設置の心臓リハビリテーション室に続き、2025年6月には摂食嚥下センターを開設しました。高齢者医療や在宅医療により、摂食嚥下障害を有する患者さんの食支援、誤嚥性肺炎予防は、これまで以上にその重要性が高まっています。当院では、センター設立前より積み重ねてきた実績をもとに、医師や歯科医師を始め他職種で構成されるメンバーで体制を強化し、地域の医療機関の皆様とともに患者さんやご家族のニーズに応えております。さらに、本年6月の回復期リハビリテーション病棟開設を目指し、様々な準備を進めております。当院が、これまでに地域の皆様とともに歩みながら積み重ねてきた強みを生かして、急性期から回復期までをトータルでカバーし、地域のニーズにしっかりと応える体制を整え、更なるサービス性の向上に取り組んで参ります。

本年4月に年度替わりを迎えるにあたり、2026年度から2029年度の4年間を対象とした新しい中期経営計画の策定にも着手しております。近い将来、当院が立地する府中町を含む

安芸郡と広島市東部地区の医療提供体制は大きく変化することが予想されています。そのような中で、私たちマツダ病院のあるべき姿を再定義するため、病院の次世代を担う職員を中心としたメンバーでビジョンを策定しています。また、地域の皆様が安心して暮らせる環境を提供し続けられるよう、時代の変化を適切に捉え、迅速に対応するための新たな具体的な施策についても、多くの職員の意見を取り入れながら検討を進めているところです。

本年も、地域の医療機関の皆様方との連携をさらに強化して、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供し、「頼られ、愛され、選ばれ続ける病院」を目指して参ります。職員一同、皆様の健康と幸せを心よりお祈り申し上げます。新しい年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心から願っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



南区医師会・マツダ病院病診連携の会

11月20日、「南区医師会・マツダ病院 病診連携の会」を開催しました。

当院と地域の先生方との「顔の見える関係性」を築き、医師間の交流を図ることで、地域医療の連携強化につなげることを目的としています。今回は南区医師会の先生方38名にご参加頂き、明るく和やかな雰囲気で交流を図って頂きました。

主な内容

- ◎開会挨拶
- ◎来客ご挨拶
- ◎マツダ病院の現状と病診連携
- ◎マツダ病院医師、診療科紹介
～歓談～
- ◎閉会のご挨拶



マツダ病院 住居 晃太郎 副院長

田村病院長からは日頃の連携についてのお礼に続き、当院が担っている急性期機能に加えて、今後リハビリを中心とした回復期機能を段階的に充実させること、直近の取り組み、今後の方針について話を致しました。その後、各診療科医師からの紹介では、ダヴィンチ導入後の状況や、9月開設の「摂食嚥下センター」の紹介などをさせていただきました。今後も地域の先生方との連携を強化して地域医療に貢献して参ります。

第7回マツダ病院オープンカンファレンス

当院では定期的にオープンカンファレンスを実施しております。

今回は当院整形外科主任部長の菊川医師が、「日常診療に役立つ肩の知識」として話をしました。日常診療の中で役立つ幅広い内容で、会場から多くの質問があり、活発なディスカッションを行うことができました。

次回の開催は、日時が決まり次第お知らせします。



講師：菊川主任部長



座長：月坂副院長

日 時 2025年10月16日 19時～20時

場 所 マツダ病院大会議室 + オンライン

プロограм テーマ：日常診療に役立つ肩の知識
～五十肩・腱板断裂を中心に～

講 師：マツダ病院整形外科主任部長 菊川 和彦

座 長：マツダ病院副院長 月坂 和宏

参 加 合計 45名（会場：31名 WEB：14名）



初開催

骨粗鬆症イベント

毎年10月20日は国際骨粗鬆症財団(IOF)と世界保健機関(WHO)が制定した「世界骨粗鬆症デー」です。

10月23日に当院で初めて骨粗鬆症啓発イベント「みんなで守ろう!骨の健康～楽しく学んで骨折予防～」を開催しました。

楽しみながら学べることをコンセプトに複数の体験式ブースや骨粗鬆症クイズなどを実施しました。

参加者からはイベントに対する肯定的な感想を多くいただき、治療に対する意識向上へ繋がる結果となりました。

委員会マスコットキャラクターの名前投票も実施し、「カルシイ」に決定しました。

今後も骨粗鬆症教室など啓発活動を実施予定ですので皆様の参加をお待ちしております。

【主な実施内容】

- 身長、体組成測定
- 運動機能測定、サルコペニア勉強会
- 歯科医師による歯科健診
- 骨粗鬆症クイズ
- 骨の健康に関する食品サンプルなどの紹介



マツダ病院 骨粗鬆症サポート委員会マスコットキャラクター
「カルシイ」



初開催

「私の心づもり人生会議」キャンペーン

「私の心づもり人生会議」キャンペーンを11月25～28日に行いました。

厚生労働省では、11月30日を「人生会議の日」と定め、人生の最終段階を含めた医療やケアについて考えるきっかけ作りを呼びかけています。

「人生会議」という言葉は重く感じられがちですが、広島県地域対策協議会が作成した「豊かな人生とともに～私の心づもり～」パンフレットをお渡しし、また、呉市と呉共済病院共同作成の信友直子監督とお父さん「人生会議やってみた」第1～3編等の動画を放映しました。



豊かな人生とともに～私の心づもり～パンフレット

視聴しながら頷かれる方や、「人生会議…まだ早いよ」と言われる方がおられました。

本パンフレットは2階ロビーや外来・病棟に設置しております。受診や入院の際には、ぜひお手に取ってご覧ください。

外来2階ロビー
で放映



「人生会議やってみた」動画



当キャンペーンの
パンフレット
配布コーナー



マツダ病院ボランティア交流会

10月27日、マツダ病院ボランティアの会「ひまわり」会員との交流会を開催しました。

交流会では、自動精算機と会計誘導の対応など患者視点での気づきや活動中の困りごとの意見交換を行いました。

また、入会から2025年3月までに活動20年になる4名のボランティアさんへこれまでの御厚意に田村病院長より感謝をお伝えしました。

ボランティア活動は、主に外来A棟2階で受付補助や案内誘導などを行っていただき、大変助かっています。

病院ボランティアに興味がある方がいらっしゃいましたらマツダ病院事務グループ 病院ボランティア担当(代表電話 082-565-5000)までお問合せ下さい。



慰霊法要

12月12日、マツダ病院慰霊法要を院内で行い、病院長をはじめ医師、看護師、薬剤師などの各部門代表が列席して執り行いました。本法要は、1年間に当院でお亡くなりになられた方々の慰霊として毎年12月に行っています。



クリスマスコンサート

12月17日、マツダ病院入院棟8階健診センターにてクリスマスコンサートを開催いたしました。混声合唱団コールエコー様に出演いただき、来場者の方からは「来て良かった」「楽しかった」などの声があり、素敵なお祝いとなりました。





● 先生の専門分野についてお聞かせください。

専門は循環器内科です。勤務医をしていた頃は主に虚血性心疾患を中心にカテーテル治療、検査に携わり、心不全や弁膜症、不整脈疾患などを診療させていただきました。

現在は一般内科をメインに呼吸器、消化器内科、糖尿病、認知症など、必要とあれば専門医へコンサルトさせていただきながら診療しています。

● 先生が日頃、心がけていることを教えてください。

患者様の病気を診ることはあたり前ですが、患者様お一人おひとりのご家族や環境、生活や思いによりそういうことを大切にしています。「ちょっと気になる」という小さな不安も気軽に相談していただけるように心がけており、必要に応じて速やかにマツダ病院などの専門病院へ連携させてもらう。そのような「かかりつけ医」として地域の健康を支え続けたいと思っております。

岩崎内科医院

院長：岩崎 年高

住所：広島県広島市南区南蟹屋1丁目3-34

電話：082-285-4570

診療科目：内科・循環器内科

診療時間：午前9:00～12:00、午後14:00～18:00

(木曜日・土曜日は午前9:00～12:30)

休診日：日曜日・祝日



● 地域連携についてどのようにお考えですか？

日常的な健康管理や慢性疾患のフォローを担い、専門的な検査や治療が必要な場合は速やかに中核病院へおつなぎすることが重要と考えます。顔の見える連携を通じて、患者さんにとって切れ目のない医療を提供したいと思っています。

● 最後にマツダ病院に要望することありますか？

2年前まで約5年間マツダ病院で勤務させていただきました。その際はとてもお世話になりました。

クリニック継承後も、緊急にもかかわらず緊急の患者様を快く引き受けくださり、感謝するとともに当院の診療においてなくてはならない中核病院として頼りにしております。今後ともよろしくお願ひします。

公開医療講座

やっていこうフレイル予防! のばそう健康寿命!

11月26日、青崎公民館でフレイル(加齢により心身弱ってきてる状態)についての医療講座をおこないました。

本講座では筋肉量の測り方(握力や簡単な運動など)の簡単チェックを行い、フレイルの改善のための運動法をメインに実演をしました。また、簡単な食事法や社会参加によるフレイル改善のメリットを話しました。



